「熊本県、KUMAMOTO KURASUの取組み」

公益財団法人　地方経済総合研究所　特別研究員　**前田　和則**
熊本学園大学　非常勤講師（日本語科目）
専修学校　久留米ゼミナール　非常勤講師（キャリア教育科目・日本語科目）
修士（文学）・修士（大学アドミニストレーション）

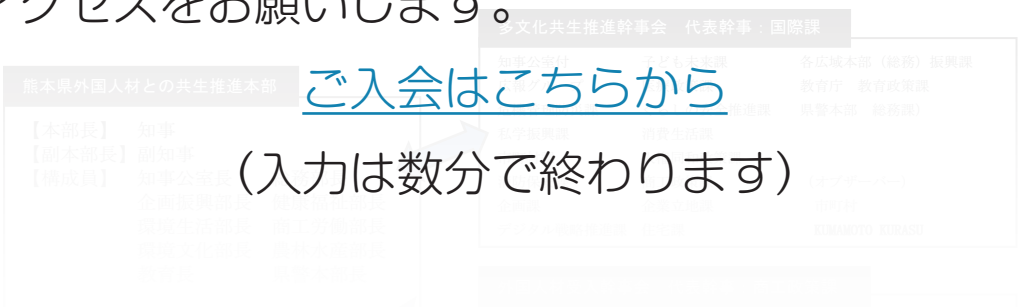
1　はじめに

本誌では2024年５月号より「外国人材に選ばれる熊本を目指して」をテーマに、外国人材を受入れる際に必要となる在留資格制度に関すること、外国人材とコミュニケーションを取るうえで必要となる「やさしい日本語」、また実際に外国人材を受入れている企業の取組みや、働く外国人材を紹介してきました。今月号で本コーナーは終了となります。最終号では、熊本県の取組みと、KUMAMOTO KURASU（くまもと くらす）による取組みを紹介します。

2　熊本県の取組み

熊本県では、外国人材から選ばれる熊本を目指し、多文化共生の推進及び外国人材の受入れ環境整備を関係部局が一体となって進めることを目的として、2024年９月に「外国人材との共生推進本部（以下、本推進本部）」を設置しました。本推進本部では、県内の在留外国人の増加が今後も続くと見込み、外国人を地域社会の一員として受入れ、共に生きていく多文化共生の推進と、外国人材の確保と定着の[illegible]多様性に満ちあふれた熊本」を目指すために設置されました（図表１）。早速今年度開催された本推進本部の会議では各部署が外国人材との共生[illegible]課題が[illegible]

図表１　熊本県外国人材との共生推進本部　組織体制図



以降は会員専用ページにて公開しております。
ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより
アクセスをお願いします。
ご入会はこちらから
（入力は数分で終わります）
会員の方はこちらから